

海洋教育に関する 国土交通省の取組

令和5年7月

海事局 海洋教育・海事振興企画室

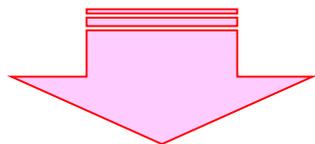
港湾局 海洋・環境課

海洋・海事への理解増進の必要性

四方を海に囲まれ、エネルギー資源を海外に依存している我が国において海事産業は

- ・ 社会経済の発展と国民の生活の安定を図る基盤
- ・ 海事産業が集積している地域の経済と雇用を支える重要な産業
- ・ 海洋資源・エネルギーの開発は、将来の日本を支える成長分野

我が国の海洋国家としての維持成長や海事産業の国際競争力の強化のためには、国民、特に若年層の海洋や海事産業への関心や親近感の喚起が重要



**国民の目に触れる機会が少ない海洋や海事産業に
目を向けてもらい、理解増進を図る**

次世代を担う子どもや若者を中心とした国民に対する 海洋・海事への理解と関心の喚起

小中高校における海洋教育（海事教育）の推進
海や船に触れる機会の創出と、海洋・海事に関する情報発信



海洋教育プログラム

海洋教育プログラム（教員の学習指導案）の作成

【社会科指導案】海事教育を授業に導入する際の指導方法の提案

【副教材資料の活用】授業で活用する資料を選択する際の参考

【社会科以外の科目等での活用】他教科での海洋教育を提案

複数の学校において試行授業を実施し、効果測定及び改善を図った。



海洋教育実施の支援体制整備・成果物の普及による効果的な海洋教育の実施

⇒ 児童・生徒・教員・保護者に海洋や海事産業への理解増進を図る

海洋教育プログラムの普及

- ・作成した海洋教育プログラムを海事局HPで公開中
海洋教育カリキュラム・マネジメント例
- ・小中学校の学習指導案の例を作成し海事局HPで公開中
小学校5年生社会科4種類、6年生社会科2種類、中学校地理的分野3種類
- ・海洋教育プログラムを用いた試行授業動画を海事局HPで公開中
小学校5年生社会科5授業、中学校地理的分野4授業
- ・小・中学生教育者向け海洋教育PR資料の配布
(令和4年度)各教科等担当指導主事連絡協議会(文部科学省)にて配布

PR資料より

社会科における海洋教育の推進 海事産業の重要性を伝える授業動画

- ・ 授業を海に親近した授業にすることで、海運や造船、漁業などの海事産業（注）の認知や理解も高まるのではないかという期待が寄せられています。
- ・ さらに、海事産業は人の命や財産を守る大切な役割を担っており、その役割や重要性を児童・生徒に伝える機会が多くなり、また、我が国が「国産船隻で7割超の輸送に貢献している」ことは、児童・生徒が自国の強み、海運や造船産業の強さを学び、その重要性を認識するきっかけとなります。
- ・ また、「海上輸送」「造船」に関する学習指導要領に際して、小・中学校学習指導要領（平成27年）よりさらに内容を充実し、学校教員の学習内容として明確に位置づけられました。
- ・ そこで、学校へは「海事産業の重要性を伝えるためのMOA（MOA）スクール授業動画（約10分）を授業動画（約7分）を制作しています。

海事産業の重要性について、
コロンちゃん、トライくんと一緒に学びます！



HPで公開中の学習指導案の例より

海洋教育授業動画の作成（令和3年度～）

【めざせ！ ぼくもわたしも船博士】（7分程度×3種類） 「海ココちゃんねる」で公開中

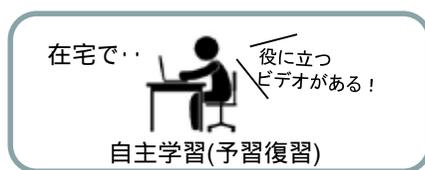
日本の食料輸入を支える「海上輸送のなぞ」をさぐれ！

日本の貿易を支える「船や港の役割と働く人のなぞ」をさぐれ！

自動車運搬船などをつくる「造船所のなぞ」をさぐれ！

令和4年度に上記動画のPR動画（YouTube版、SNS版）を制作し公開中

↓ オンライン授業ビデオを海洋教育に活用 ↓



海洋教育授業動画より

小学生を対象として海運、船員、造船分野の普段は見られない仕事の様子等を提示
⇒ 児童、教員、保護者の海洋や海事産業への興味・関心を高める

地方事業

海事産業に対する理解促進(各種理解促進の機会提供)

普段接する機会の少ない海運、造船等の海事産業や船員の職業に関する出前講義や施設見学等を通して、児童・生徒に体験型学習の場を提供するとともに、教員、保護者には、児童・生徒への海洋教育実施のための理解促進を図る。

令和4年度地方運輸局（11機関）事業実施数 1 2 3 件

事業対象者：小中高校生、教員、保護者

実施内容：出前講座、施設見学、体験乗船等



体験乗船の様子

今後も事業を継続し、若年層の海洋や海事産業への関心や親近感の喚起を促す

プロジェクト概要

海離れが指摘されている子どもや若者を始めとした国民全体に対して、海・船への興味・関心をより一層高めるとともに、海事観光や海洋レジャーの市場拡大していくため、平成29年夏に「C to Seaプロジェクト」を開始。

国土交通省と海事関係26団体が官民一体となった「海事広報活性化協議会」を設立して、海や船に触れる機会の創出と、海事・海洋に関する情報発信を行っている。

海事産業における人材確保のために、海事関連職種の紹介や魅力の発信等も実施している。

本プロジェクトは、国土交通省や日本財団等を中心に産学官民共同で行う「海と日本プロジェクト」の一環です。

【シンボルマーク】



「国民 (Citizen)、子供達 (Children)、文化 (Culture) などの様々な「C」を「Sea (海)」につなげる。

事業実績

専用ポータルサイト・SNS運用



フォロワー1万人達成!



@c2_sea_project
フォロワー:10,325人



@c2.sea.project
フォロワー:1,771人



海ココちゃんねる

フォロワー:848人



(R5.4.12現在)

アンバサダーの任命



「C to Seaプロジェクト」アンバサダーとしてSTU48が就任 (2018年2月～)

海事観光サイトの新設



「船に乗りたい」、「海で遊びたい」など「やりたい!」ことから探す「海の旅」サイト

海事産業の仕事紹介



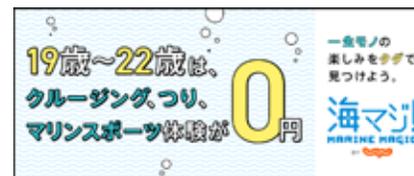
リアルな海の仕事集「SEA-GOTO」全国の公立中学校に1万部配布

マリンアクティビティ啓蒙



マリン体験紹介冊子「umiasoBe」誰でも気軽に「海遊び」を楽しむ方法を紹介

民間事業者の賛同企画



若者向けマリンレジャー・船旅需要喚起プロジェクト「海マジ!」(19~22歳無料体験) (主催: (株)リクルート)



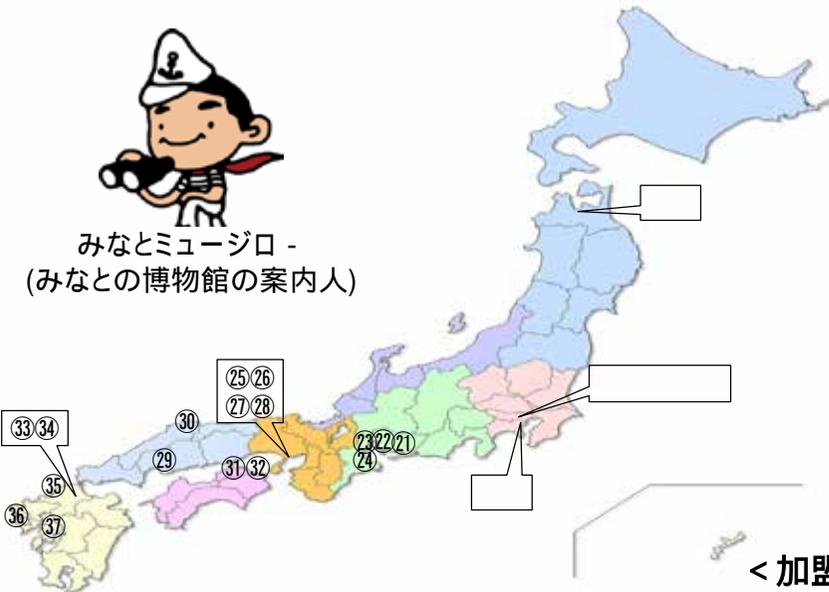
御船印めぐりプロジェクト ((一社)日本旅客船協会 公認プロジェクト) (主催: 御船印めぐりプロジェクト事務局)

国土交通省港湾局では、「みなとの博物館ネットワークフォーラム」と連携し、博物館での展示を通じて、みなとが人々の暮らしや経済活動において重要な役割を担っていることなどを分かりやすく伝える取組を行っている。

令和5年4月に策定された第4期海洋基本計画において[「みなとの博物館」等を通じた海洋教育の場の提供など、「みなと」を核とした魅力ある地域づくりを促進する。]と明記され、海洋教育の観点からもみなとの博物館ネットワークフォーラムが重要な役割を担うことが期待されている。



みなとミュージロ -
(みなとの博物館の案内人)



「みなとの博物館ネットワーク・フォーラム」について

- ・会員博物館相互が連携して各施設の振興を図ること、また、みなとの文化及び歴史を次世代に継承し、みなとの賑わい創出と地域振興を目的として設置(平成16年6月)
- ・加盟博物館数: 正会員35館、特別会員2館(令和5年6月時点)

【主な活動内容】

- ・イベントや企画展等の開催に対する正会員の活動の支援
- ・SNS等で、フォーラムの活動や会員博物館の紹介等の発信
- ・職員が交流し、効果的な集客策を考案したり、学芸活動について様々なスキルを習得するための交流会の実施

< 加盟博物館一覧 > (令和5年4月現在)

苫小牧ポートミュージアム	日本海交流センター・帆船海王丸(海王丸パーク)	⑲	神戸大学海事博物館	
あおもり北のまほろば歴史館	七尾フィッシャーマンズ・ワーフ 能登食祭市場	⑳	神戸築港資料館 ピアしっくす	
青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸	石川県銭屋五兵衛記念館	㉑	呉市海事歴史科学館(大和ミュージアム)	
山形県酒田海洋センター	坂井市龍翔博物館	㉒	海とくらしの史料館	
みなとオアシス“渚の駅”たてやま(館山市立博物館分館)	敦賀市立博物館	㉓	瀬戸内海歴史民俗資料館(香川県立ミュージアム分館)	
東京臨海部広報展示室 TOKYO ミナトリエ	道の駅「開国下田みなと」ハーバー&JGFAカジキミュージアム	㉔	琴平海洋博物館(海の科学館)	
船の科学館	フェルケール博物館	㉕	関門海峡ミュージアム	
物流博物館	㉖	蒲都市生命の海科学館	㉗	わかちく史料館
公益財団法人日本海事センター海事図書館	㉘	名古屋海洋博物館・南極観測船ふじ	㉙	博多港ベイサイドミュージアム・博多ポートタワー
東京海洋大学 百周年記念資料館・明治丸記念館	㉚	うみてらす14	㉛	新上五島町鯨骨館ミュージアム
横浜みなと博物館・帆船日本丸	㉜	鳥羽市立海の博物館	㉝	南島原市口之津歴史民俗資料館
日本郵船歴史博物館 日本郵船氷川丸	㉞	西宮市貝類館		
新潟市歴史博物館「みなとびあ」	㉟	神戸海洋博物館		

横浜みなと博物館は「歴史と暮らしのなかの横浜港」をメインテーマに、横浜港に関する調査・研究、資料・図書の収集・保存、展示・公開、教育活動を実施。

○これら活動を通して、一人でも多くの方が、より横浜港を知り、考え、楽しむことができる博物館を目指している。

主な展示内容(常設展示)

開港前後の横浜



映像展示「横浜開港」
戦争と接収



新港ふ頭返還記念の鍵
現代の横浜港



クルーズ客船ダイヤモンド・プリンセス模型

近代港の建設



大さん橋のスクリューパイル
高度経済成長と港の整備



横浜港港湾荷役模型

関東大震災と復興



貨客船アンドレ・ルボン模型
コンテナ輸送時代の到来



ガントリークレーンシミュレーター

加えて、帆船日本丸の歴史や総帆展帆を迫力ある大型映像で体験できるVRシアターや、横浜の埋め立ての歴史を学ぶことができる「埋立と築港の技術と歴史」の展示室もある。

イベント情報

企画展

「関東大震災100年 船と港から見た関東大震災」
2023年8月26日(土)～11月5日(日)

関東大震災から100年の節目にあたる2023年に復興に船と港が果たした役割を紹介



震災後の大さん橋に停泊する救援船
1923(大正12)年
「関東震災地写真帖」より

学芸員のワンポイント展示解説

学芸員がテーマを決めて、常設展示を深く掘り下げて解説

(写真提供:公益財団法人帆船日本丸記念財団)

大和ミュージアムでは「呉の歴史」とその近代化の礎となった造船・製鋼を始めとした各種の「科学技術」を紹介。我が国の歴史と平和の大切さや、日本の将来を担う子ども達に科学技術のすばらしさを理解いただくことなど、地域の教育、文化及び観光等に寄与することを目的としている。

主な展示内容(常設展示)

〇呉の歴史

- ・明治22(1889)年 呉鎮守府設置
- ・明治36(1903)年 呉海軍工廠設置
(戦前、戦艦「大和」を建造)
- ・戦時中～戦後の歩み



呉の歴史



戦後の歩み

〇戦艦「大和」

- ・戦艦「大和」(1/10サイズ)
- ・戦艦「大和」の計画から建造その生涯について展示



1/10戦艦「大和」

〇実物資料

- ・特攻兵器「回天」(試作型)
- ・零式艦上戦闘機六二型(零戦)



特攻兵器「回天」



零式艦上戦闘機六二型



船をつくる技術展示(3階)



博物館の外観

大和ミュージアム 教育旅行

- ・大和ミュージアムでは、学校団体向けにガイダンス等の見学メニューを提供している。

【見学メニュー】
ガイダンス、講座(15分、30分)、アニメーション・証言映像視聴等



ガイダンスの様子

イベント情報

- ・大型旋盤公開記念特別展示(開催中)
- ・第31回企画展 日本海軍と航空母艦(2023年7月7日～)等

(写真提供: 呉市海事歴史科学館 大和ミュージアム)